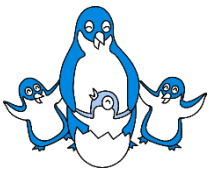

# 地域子育てネットワークだより

令和５年８月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局
650-8567　神戸市中央区下山手通 5-10-1　兵庫県県民生活部男女青少年課
E-MAIL：danjoseishounen@pref.hyogo.lg.jp　電話：（078）341-7711（内線 2780）

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17/network-payori.html http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk17

## 誰もが安心して子育てできる社会へ

子どもを取り巻く環境への不安が増大している今日、より一層の**子どもの安全確保**のためには、**家庭・学校での安全対策**はもとより、それらを取り巻く**地域が一体となって子どもを見守って**いかなければなりません。

県では**子育て応援ネット事業**として、17の兵庫県地域女性団体ネットワーク会議の構成団体や、自治会、青少年関係団体、子ども会、ＰＴＡ等の**地域団体がネットワークを組み**、子育て家庭への見守り、声かけ、子育て相談、イベント、登下校時のパトロールなどを行う**子育て家庭応援運動**を展開しています。

また、子育て家庭応援推進員や活動に賛同するメンバーは、子育て家庭の**ＳＯＳをキャッチし**、市町やこども家庭センター、民生・児童委員、警察署等の関係機関へ連絡する取り組みを行っています。

| 児童虐待防止２４時間ホットライン | |
|---|---|
| 中央こども家庭センター | 078-921-9119 |
| 尼崎こども家庭センター | 06-6494-0505 |
| 西宮こども家庭センター | 0798-74-9119 |
| 川西こども家庭センター | 072-759-7799 |
| 加東こども家庭センター | 0795-48-9300 |
| 姫路こども家庭センター | 079-294-9119 |
| 豊岡こども家庭センター | 0796-22-9119 |
| 神戸市こども家庭センター | 078-599-7300<br>（平日：8時45分~17時30分） |
| 明石こどもセンター | 078-918-5097 |
| 児童相談所虐待対応ダイヤル　189（いちはやく）<br>（お近くの児童相談所へつながります） | |

【問い合わせ先】
兵庫県男女青少年課
TEL：078-362-4185

## あなたのとっておきの「家族写真」募集中！

家族の大切さを見つめ直すきっかけ、また絆を深めるきっかけとして「家族の日」をテーマに写真コンクールを開催します。**家族のあたたかさ・絆を感じられる写真**を募集します。同居家族はもちろん、家族と同じようなつながりを感じる**「人」「動物」「物」**の写真もご応募ください！

応募締切：**9／15(金)**

詳細は兵庫県の HP をご覧ください。

家族の日　写真コンクール

ご応募お待ち
してます！

## 子育て応援ネットの活動紹介

声かけ･見守り活動などで子育て家庭を応援する
「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します

「猪名川町青少年健全育成推進会議」では、若者たちと共に歩む時代がさらに豊かな未来を創造できるようにする取り組みとして、**３つの「わ」**をテーマとして定め活動を展開しています。（**「話」**：若者同士や大人同士、若者と大人それぞれのコミュニケーション・**「輪」**：若者と大人、地域や社会との連携・**「和」**：打ち解け合い、気持ちが通じる社会）

多世代交流を目的とした「オールジャンルフェス」、いかなる差別も許さない「シトラスリボンプロジェクト」、地域・学校・行政・社会の連携「青少年フォーラム」等の事業を展開しています。

今後も、目まぐるしく変化する社会環境において、**日々若者たちの生の声に耳を傾け**ながら、当団体だからこそできる**オリジナリティに富んだ取り組み**を続けてまいります。

猪名川町青少年健全育成推進会議
会長　太田　はるよ

## まちの子育てひろばの活動紹介

### 加東市　「子育てさろん」

社会福祉法人　東条保育福祉会『子育てさろん』は、子育て中の親子が気軽に集い、遊びながらお互いに繋がり仲間づくりをしていくこと、そして、その中で情報交換をし、様々な悩みを共有したり、解決しながら**子どもと大人の成長を育むことを目的**とし開催しています。

リトミック、親子体操、水遊び、製作、運動会ごっこ、親子遠足、クリスマス会など月１回程度、就園前の親子が参加し、和やかな雰囲気で開催しています。

活動後のティータイムの時間は、おやつを食べながらみんなで和気あいあいと子育ての話や情報交換をし、何気ない話題で盛り上がり、**リフレッシュできる場**となっています。

親子でリフレッシュし、楽しいひとときが過ごせる場になるよう盛り上げていきたいと思います。

社会福祉法人　東条保育福祉会
子育てさろん担当講師　　藤原　康子

連載
第１６４回

## 大自然の中で遊び、学ぼう

県立こども病院名誉院長　中村　肇

近年、人口は都市に集中し、高層マンションでの生活が増え、子どもたちが**自然の中で、土に触れる機会が減りました**。いくら科学技術が進歩し、生活が豊かになっても、私たち人間は地球上の生き物です。

戦時中に、尼崎市街地に住んでいた私は、米軍B29の空襲を受け、郊外の田園地帯に疎開していました。授業が終わると、校庭で日が暮れるまで草野球、夏休みは小川でのドジョウすくい、フナ釣り、秋には、イモ掘り、採ってきたイナゴを食したことなどが生涯での思い出です。

地方に行けば、**まだまだ豊かな自然が残っています**。「過疎の村おこし」として、「古民家の活用」、「生徒のいなくなった学舎の活用」が話題になっています。

夏休みまっただ中です。**子どもたちが大自然に触れ、オゾンに満ちた大気**が子どもの脳に送り込まれると、きっと**寛容の精神に満ちた心豊かな大人**になってくれるでしょう。